



いるかぐみだより

7月号



2025年7月  
天沼保育園  
いるかぐみ

暑い日が増えてきましたが、そんな中でも子どもたちは元気に水遊びや、室内での遊びを楽しんでいます。七夕前に“たなばたさま”の歌を紹介したところ、あっという間に覚え、子どもたち同士で歌って楽しんでいる姿がありました。そこで、七夕後からは“うみ”という歌を紹介しました。最初はおわりの会の際に音楽に合わせて保育者と歌っていましたが、最近は「おわりの会するよ。」と声をかけると集まった子からみんなで合わせて歌っているのが驚かされます。色々な歌にも触れながら楽しんでいけると良いなと思っています。

5月から飼っているカタツムリがいる生活にもだいぶ慣れてきている子どもたち。以前ほどじっとカタツムリを観察する姿はありませんが、毎日のエサやりは欠かしません。保育者が虫かごの近くに餌を置いておくと、気付いた子があげてくれます。以前は「古い餌取るのは先生がやって。」「うんちは触りたくない。」と話していることが多かったですが、今では子どもたちの中でも「みんなも取ってよ。」なんて話しながら綺麗にしてくれます。古い野菜を入れるために用意する袋を手袋代わりに付けると手が汚れないと気付き、手を汚さなくても取る方法を考えたようです。休み明けは入れている野菜が傷みやすいため、「先生も手伝って。」「なんか臭い…。」と話す姿もありますが、もうほとんど子どもたちだけでかたつむりの餌やりとちょっとした掃除はできるようになっています。大きいカタツムリの“かたちゃん”はよく虫かご中を歩いているので触ることができる子も増えています。(触った後は手を洗う約束をしています。)これから季節によって色々な変化も見られると思うので、そんな様子も観察できると良いなと思っています。



### おねがい

- ・夏季休暇の予定がありましたら、分かり次第キッズレポへ入力をお願いします。
- ・水遊び等思い切り体を動かして遊ぶ機会も増えてくる時期なので、手足の爪の長さをこまめに確認するようにお願いいたします。
- ・着替えることが多くなり、着替えカゴの服の不足が増えてきました。毎日持ち帰った服の枚数を補充いただくと丁度良い量になります。改めて確認をお願いします。